

## 肝炎治療医療費助成の対象治療と効果

### 【助成対象治療】

助成開始時期	治療	
平成19年10月	C型肝炎インターフェロン(都単独)	
平成20年4月	B型・C型肝炎インターフェロン(国制度開始)	
平成20年4月	B型肝炎核酸アナログ製剤	
平成23年12月	C型肝炎インターフェロン	3剤併用療法(テラプレビル)
平成25年12月	C型肝炎インターフェロン	3剤併用療法(シメプレビル)
平成26年 9月	C型肝炎インターフェロンフリー	ダグラタスビル・アスナプレビル併用療法
平成26年11月	C型肝炎インターフェロン	3剤併用療法(バニプレビル)
平成27年 6月	C型肝炎インターフェロンフリー	ソホスビル・リバビリン併用療法
平成27年 9月	C型肝炎インターフェロンフリー	レジパスビル/ソホスビル配合錠による治療
平成27年11月	C型肝炎インターフェロンフリー	オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤による治療
平成28年 9月	C型肝炎インターフェロンフリー	オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤及びリバビリン(レベトールカプセル200mgに限る)併用療法
平成28年11月	C型肝炎インターフェロンフリー	エルバスビル及びグラゾプレビル併用療法

### 【効果】

治療		効果 (SVR率)	
B型	核酸アナログ製剤治療	—	
B型	インターフェロン治療	—	
C型	インターフェロン治療	インターフェロン単剤治療、(ペグ)インターフェロン及びリバビリン併用治療、3剤併用治療 50%~85%	
C型	インターフェロンフリー治療	ダグラタスビル・アスナプレビル併用療法	85%
		ソホスビル(+リバビリン併用療法)	96%
		レジパスビル/ソホスビル配合錠による治療	100%
		オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤による治療	94%

\* SVR: 血中HCV-RNA持続陰性化(ウイルス学的著効)、「効果(SVR率)」欄にあるのは治験段階での数値

\* 第17回肝炎対策推進協議会(平成28年3月17日)資料より作成